

かんたん操作ガイド

 このマークがある箇所は取扱説明書を参照してください。

マッサージモード

速いリズムで母乳の分泌を促します。

- ① 乳房にさく乳口をあて、電源を入れます。

「マッサージモード」が始まります。吸引圧はレベル1から始まります。




- ② 吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)で吸引圧を調節します。

吸引圧はレベル1～9まであります。

詳しくは、取説 P8 

<吸引圧調節の仕方>

吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)を押してレベルを調節します。

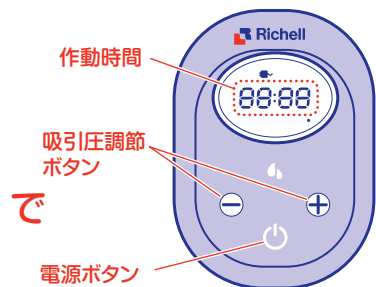
レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
液晶表示									
吸引圧	弱い ⊖ ←								強い ⊕ →
吸引リズム	速い ⊖ ←								遅い ⊕ →

電源ボタンを押してから3分経過せずにモードを切り替える場合は

③～⑥の手順で行ってください。

- ③ 母乳が出始めたら、吸引圧をレベル1に下げます。

吸引圧調節ボタン(⊖)を押してレベルを1まで下げてください。



さく乳モード

ゆったりしたリズムでさく乳します。

- ④ モード切替えボタン(💧)を押します。

「さく乳モード」が始まります。

吸引圧は「マッサージモード」と同じレベルから始まります。



注意

モードを切り替える際、「マッサージモード」ボタンの吸引圧と同じレベルに切り替わるので吸引圧の強さに注意してください。




- ⑤ 吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)で吸引圧を調節します。

吸引圧はレベル1～9まであります。

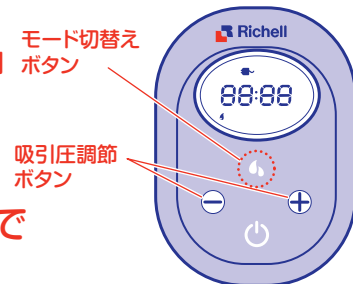
詳しくは、取説 P9 

<吸引圧調節の仕方>

吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)を押してレベルを調節します。

レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
液晶表示									
吸引圧	弱い ⊖ ←								強い ⊕ →
吸引リズム	速い ⊖ ←								遅い ⊕ →

- ⑥ 電源を切り、乳房からさく乳口を外します。



さく乳器 電動 Plus

Electric breast pump plus

取扱説明書

もくじ

ページ

さく乳器について ……………	1
特長 ……………	1

使用上の注意 ……………	2
--------------	---

部品の名称 ……………	3
電動本体の操作・表示部 …	4
組立方法 ……………	5～6
お使いになる前に ……………	7
さく乳器の使用方法 …	8～9

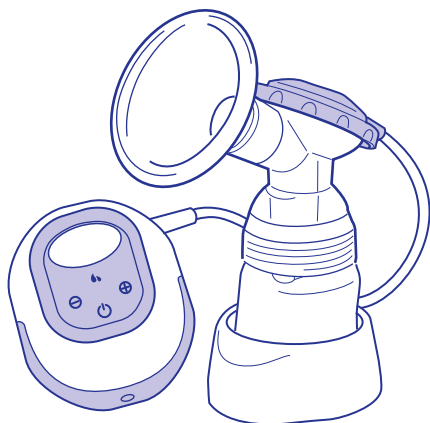
洗浄について ……………	10
消毒について ……………	10
母乳保存の方法 ……………	11
ほ乳びんの使用方法 …	11～12
故障かな?と思ったら …	13～14
保証書 ……………	15

はじめに

必ず守る

使用方法

お手入れ方法



このたびは、リッチェル製品をお求めいただきありがとうございます。

- ・ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ・本品を他のお客様にお譲りになるときは必ず本書も併せてお渡しください。

※本品に乾電池は付属していません。(乾電池使用時:単3形アルカリ乾電池4本/別売)

さく乳器について

母乳を保存しておき、あとで赤ちゃんに飲ませる場合や、直接母乳を与えられないときに、母乳をしぼって与える器具です。

出産直後は乳腺が未発達で母乳が出にくい状態です。1～2回のマッサージやさく乳だけでは出にくい場合もあります。さく乳は、毎日ゆっくりあせらずに行ってください。それでもさく乳できないときは、専門医に相談することをお勧めします。

特長

- コンパクトサイズなので片手で簡単に操作できます。
- 2段階のリズムと9段階の吸引圧の切替えで自分に合ったさく乳スタイルが選べます。
- 静音設計で赤ちゃんの眠りを妨げません。
- バックライト付液晶モニターで夜間も見やすいです。

効率的にさく乳できる2段階モード(リズム)切替えシステム

1 マッサージモード(速いリズム)

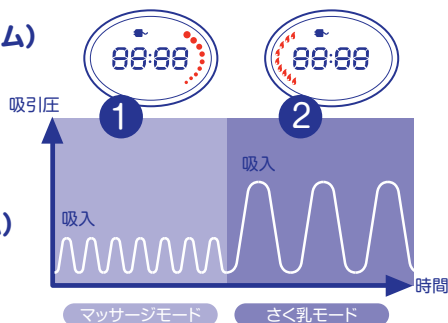
～母乳の分泌を促す～

赤ちゃんがおっぱいを吸い始めるときのように、速いリズムで乳首をやさしく刺激し、母乳の分泌を促します。

2 さく乳モード(ゆっくりリズム)

～母乳が出始める～

赤ちゃんが母乳を飲むときのように、ゆったりした深いリズムで吸引圧と速さを自由に調整しながら、スムーズにさく乳をします。



使用上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

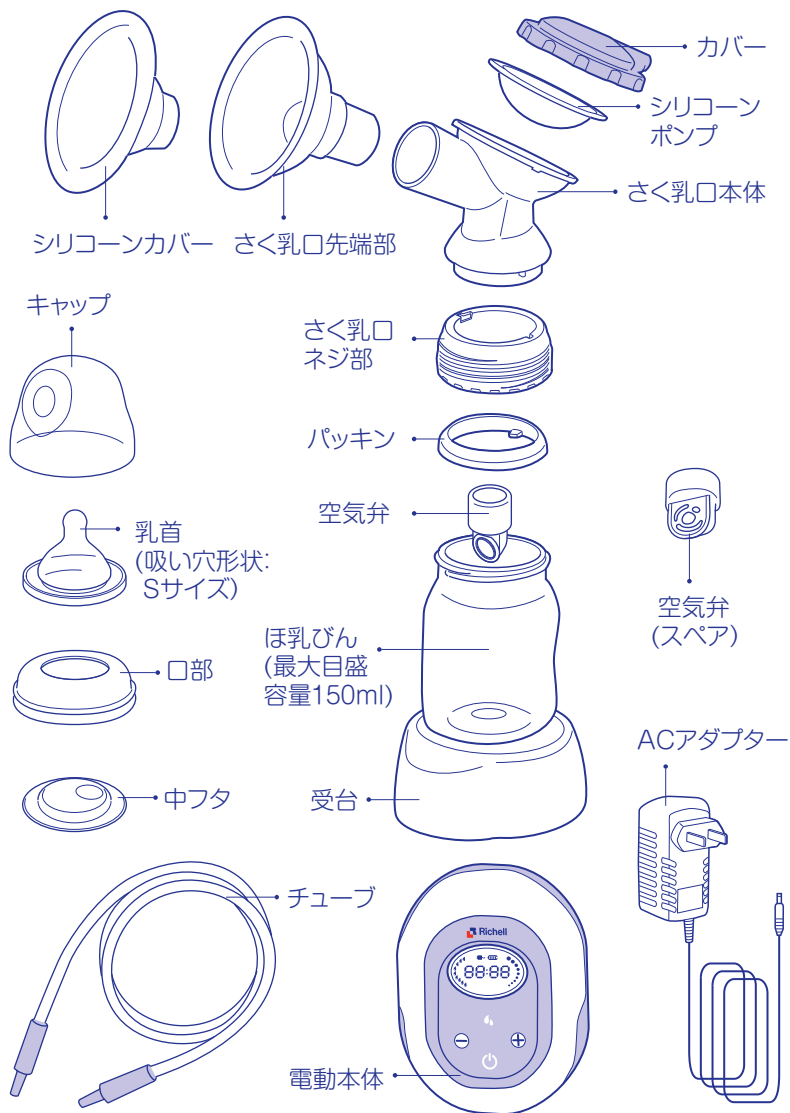
▲注意 ……取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

▲注意

- さく乳以外の目的では、絶対に使用しないでください。
- **乳首や乳腺の異常を感じた場合は、さく乳を直ちに中止して専門医に相談してください。**
- 過度の使用や連続しての吸引は、乳首や乳腺を痛めるおそれがありますので注意してください。
- 製品や取り外した部品をお子様の手の届くところに置かないでください。ケガや誤飲のおそれがあります。
- 煮沸消毒や電子レンジ消毒直後の製品は直接触れないでください。ヤケドのおそれがあります。
- さく乳は手を清潔にして行ってください。
- 各部品を正しくしっかり取り付けてください。間違ったり、ゆるかったりした場合、さく乳できないおそれがあります。
- 火のそばに置かないでください。
- 落としたり強い衝撃を加えないでください。変形、破損の原因になります。
- 過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。
- 電動本体は、濡れたタオルでふいたり、水で洗ったりしないでください。起動しなくなるおそれがあります。

部品の名称

組立て前に、部品の確認をしてください。



電動本体の操作・表示部

操作部は①～③、表示部は④～⑧です。

④ACアダプター

- ACアダプター使用時に表示されます。

⑦吸引圧レベル

- さく乳モード時の吸引圧の強さを表示します。
※さく乳モードについては9ページを参照してください。

③モード切替えボタン

- マッサージモードとさく乳モードの切替えを行います。

②吸引圧調節ボタン

- 吸引圧の強さを調節します。

①電源ボタン

- 電源の入/切を行います。

⑤乾電池残量

- 乾電池使用時に表示され、乾電池の残量を表示します。

⑥吸引圧レベル

- マッサージモード時の吸引圧の強さを表示します。
※マッサージモードについては8ページを参照してください。

⑧作動時間

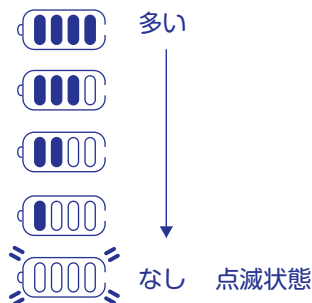
- 電源を入れてからの作動時間を表示します。



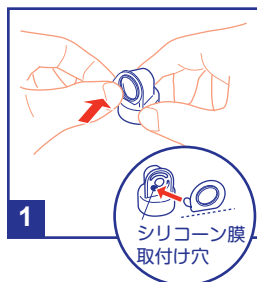
※電源を入れた状態で30分経過すると自動的に電源が切れます。

【乾電池残量表示について】

乾電池の容量が減ってくると乾電池残量表示が図のように表示されます。



組立方法



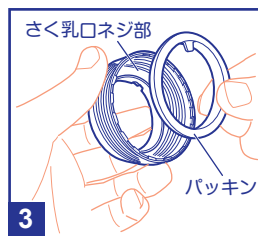
空気弁にシリコン膜を取り付けます。空気弁のシリコン膜取付け穴にシリコン膜裏側の突起を図のように差し込みます。シリコン膜を取り付ける位置、方向性を間違わないように取り付けてください。

▲ 注意

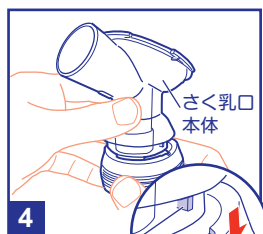
シリコン膜を強く引っ張らないでください。破れたりキズがつくおそれがあります。空気弁・シリコン膜が破損すると吸引できません。



さく乳口本体に空気弁を取り付けます。このとき、空気弁は、さく乳口入り口側へ向けてください。



さく乳口ネジ部の内側にパッキンを取り付けます。パッキンは、持ち手が飛び出しているほうが手前側になります。



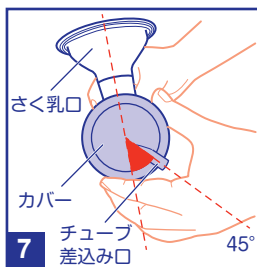
さく乳口本体とさく乳口ネジ部を取り付けます。
① さく乳口本体の凸部とさく乳口ネジ部の凹部を合わせはめします。
② さく乳口ネジ部の凹部の切欠き側にさく乳口本体を回らなくなるまで回します。



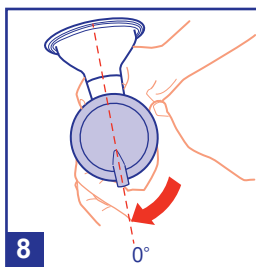
シリコンカバーをさく乳口先端部へ、さく乳口先端部をさく乳口本体へ取り付けます。その際、シリコンカバーの縁を開き、さく乳口先端部の縁にかぶせてください。さく乳口先端部とシリコンカバーが密着するようにしっかり押し入れてください。



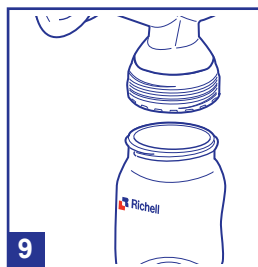
シリコンポンプをさく乳口本体上部に取り付け、カバーをします。(カバーの取付けは次ページを参照してください。)



カバーは上から見て、さく乳口に対して45°ではめます。角度はカバーのチューブ差し込み口を目安にしてください。



カバーを0°まで回します。カバーのチューブ口がさく乳口側と逆を向くようにカバーを回してください。



さく乳口本体にほ乳びんを取り付けます。このとき、ほ乳びんの **Richell** ロゴが正面を向くようにします。



チューブをカバーのチューブ口と電動本体部に取り付けます。



受台にほ乳びんを入れます。

▲注意

- この製品には小さな部品が使われています。赤ちゃんが口に入れないように注意してください。また組立て時になくさないようにしてください。
- 組立て時は手を清潔にして行ってください。
- 組立ては必ず順番通りに行ってください。
- シリコンゴム製の部品は乱暴に扱うと破れやキズがつくおそれがあります。取扱いには十分に注意してください。

<分解は組立てと逆の手順で行ってください。>

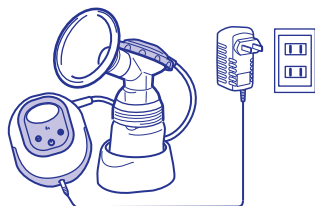
▲注意

- 分解は必ず順番通りに行ってください。
- シリコン膜を強く引っ張らないでください。破れたりキズがつくおそれがあります。シリコン膜が破損すると吸引できません。

お使いになる前に

【ACアダプターのセットの仕方】

ACアダプターを図のように接続します。



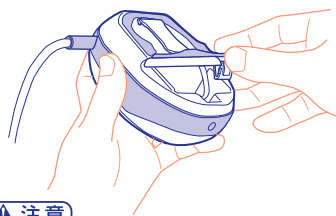
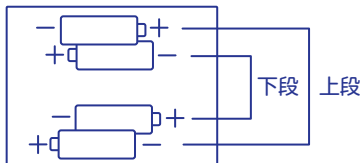
▲ 注意

- コードを持って引っ張らないでください。
- ACアダプターは、あたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- ACアダプターを使用しているときは、乾電池は作動しません。
- ACアダプターを使用しないときは、必ずコンセント口から抜いてください。


【乾電池のセットの仕方】 ※乾電池使用時は単3形アルカリ乾電池4本使用。

電動部の電池カバーを開き、電動部の刻印に従い乾電池を入れ電池カバーを閉じます。乾電池を入れる際、ヒモは乾電池の下に入れてください。乾電池を取り出す際にヒモを引っ張ると取り出しやすくなります。

電動部の乾電池刻印

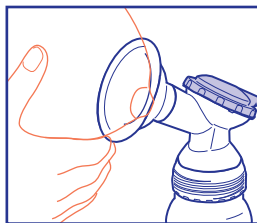


▲ 注意

- 吸引圧が弱くなったり、所定の吸引圧になるのに時間がかかるときは、乾電池を交換してください。
- 乾電池の残量表示が点滅  している場合は、乾電池を交換してください。
- 乾電池の交換は、4本同時に行ってください。種類の異なる乾電池を混ぜて使うと液漏れや破裂のおそれがあります。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

【さく乳器の使用の前に】

- さく乳する前に手をきれいに洗います。
- さく乳器を洗浄・消毒し、正しく組立てます。
(洗浄・消毒・組立てのページ参照)
- イスなどに座り、やや前かがみの姿勢でさく乳します。
- 乳頭がシリコンカバーの中心にくるようにして、乳房にぴったり押し当てます。空気が漏れないようにシリコンカバーを密着させてください。もう一方の手で乳房を下から支えると上手く密着できます。



▲ 注意

- さく乳時に痛みや不快感を感じたら、さく乳を中止してください。
- さく乳器を使っても母乳が出ないときは、無理にさく乳をしないでください。
- ほ乳びんに150ml以上のさく乳はしないでください。
- ほ乳びんに母乳が入った状態でさく乳器を倒すと、中身がこぼれますので注意してください。

さく乳器の使用法

マッサージモード 速いリズムで母乳の分泌を促します。

- ① 乳房にさく乳口をあて、電源ボタンを押します。

「マッサージモード」が始まります。

- 吸引圧はレベル1から始まります。
- 電源を入れてから45秒ごとに自動でレベルが上がります。
(自動でレベルが上がるのはレベル5までです。)

- ② 吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)を調節し自分に合う適度な吸引圧とリズムにします。

- 吸引圧はレベル1～9まであります。

- ③ 母乳が出始めたら、吸引圧をレベル1に下げます。



【吸引圧調節の仕方】

吸引圧調節ボタン(⊕、⊖)を押してレベルを調節します。

レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
液晶表示									
吸引圧調節	<p>手動 (最初から吸引圧を調節する場合)</p> <p>自動 45秒ごとにレベルUP (吸引圧を調節しない場合)</p> <p>手動</p>								
吸引圧	弱い ⊖ ← → 強い ⊕								
吸引リズム	速い ⊖ ← → 遅い ⊕								

電源ボタンを押してから3分経過せずにモードを切り替える場合は③～⑥の手順で行ってください。

さく乳モード

ゆったりしたリズムでさく乳します。

- ④ モード切替えボタン (M) を押し、「マッサージモード」から「さく乳モード」に切り替えます。

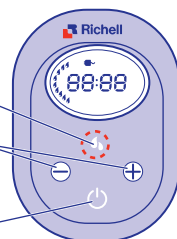
「さく乳モード」が始まります。

- 吸引圧は「マッサージモード」と同じレベルから始まります。

モード切替えボタン

吸引圧調節ボタン

電源ボタン



注意

モードを切り替える際、「マッサージモード」の吸引圧と同じレベルに切り替わるので吸引圧の強さに注意してください。

吸引圧レベル
※常に点滅

作動時間



- ⑤ 吸引圧調節ボタン (⊕、⊖) を調節し自分に合う適度な吸引圧とリズムにします。

- 吸引圧はレベル1～9まであります。

- ⑥ 電源ボタンを押し、電源を切り、乳房からさく乳口を外します。

【吸引圧調節の仕方】

吸引圧調節ボタン (⊕、⊖) を押してレベルを調節します。

レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9
液晶表示		→				→			
吸引圧調節	← 手動 →								
吸引圧	弱い ⊖ ←								→ 強い ⊕
吸引リズム	速い ⊖ ←								→ 遅い ⊕

洗浄について

- 使用前に必ず洗浄および消毒してから使用してください。
- 細菌による感染症予防のために、使用後はすぐぬるま湯につけて洗浄してください。
- ほ乳びんを洗うときは、やわらかいスポンジとほ乳びん専用洗剤を使用してください。みがき粉、クレンザー、たわしなどかたいものでこするとキズがつき、汚れや白濁の原因となるおそれがあります。また、洗剤が残らないよう十分すすいでください。
- チューブは消毒できません。水洗いをした場合は、中の水滴を完全に乾燥させてから使用してください。電動部の破損につながります。(カバー・シリコンポンプも同じように行ってください。)
- シリコンゴム製の部品(シリコンカバー・シリコンポンプ・シリコン膜・乳首)は、やわらかいスポンジでやさしく洗ってください。乱暴に洗うと破れたりキズがつくおそれがあります。
- 乳首は裏返してからていねいに洗ってください。乳頭部の吸い穴および空気穴はよくもみ洗いをしてください。つまるとつぶれやびんの中への脱落など思わぬ事故の原因になります。

消毒について

【煮沸消毒】

- 煮沸消毒の際、ヤケドなどには十分に注意してください。
- 製品がなべの底に接しないよう大きめのなべにたっぷりお湯を沸かします。
- 過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。煮沸するときは、大きめのなべにお湯をたっぷり入れて3～5分煮沸してください。
- 製品は冷めてから取り出してください。製品が高温になりヤケドをするおそれがあります。また、熱による変形、破損の原因になります。

【薬液消毒】

- 各部材を取り外し、ほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
- 消毒液の取扱説明書にしたがって消毒してください。薬液消毒の場合、印刷の色が薄くなるおそれがあります。

【電子レンジ消毒】

- 直接電子レンジにほ乳びんや部品を入れないでください。
- 各部材を取り外し、電子レンジおよび電子レンジ消毒器の取扱説明書にしたがって消毒してください。

母乳保存の方法

【冷蔵保存】

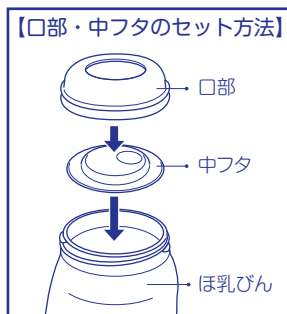
- さく乳後24時間以内に授乳するのであれば冷蔵庫（5℃くらい）で保存できます。与えるときは40℃くらいのお湯で温めてください。
- 冷蔵保存するときは、付属の口部と中フタを右下図のように取り付けてください。

【冷凍保存】

- 母乳はマイナス18℃以下で約3週間の冷凍保存が可能です。保存専用パックに入れて冷凍庫に保管します。冷凍した母乳は流水で解凍した後、40℃くらいのお湯で温めてください。
- ※詳細は保存専用パックの取扱説明書にしたがって使用してください。

▲注意

- 付属のほ乳びんで冷凍保存はしないでください。割れるおそれがあります。
- 冷凍した母乳の電子レンジでの解凍はしないでください。
- 解凍した母乳はすぐに与えてください。
- 一度解凍した母乳は再度冷凍しないでください。
- さく乳した母乳と保存した母乳を一緒にしないでください。
- 中フタを使用しても漏れるおそれがあります。母乳が入ったほ乳びんは立てて保存してください。



ほ乳びんの使用方法

【授乳方法】

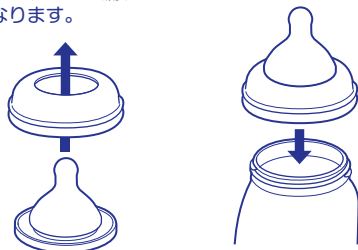
- 授乳の際は保護者の監督のもとで行ってください。
- 授乳時間は15～20分を目安にしてください。適切な授乳は赤ちゃんのアゴの運動を促し、離乳食へ移行するための準備運動となります。
- 乳首の先端に母乳を少し残した状態で授乳をやめてください。最後まで吸わせると空気を飲み込むおそれがあります。

【乳首の使用について】

- 乳首は2～3コを交互に使ってください。赤ちゃんがひとつの乳首になじむと、新しい乳首を嫌って吸わないおそれがあります。
- 同じ乳首を長く使用すると弾力を失い、破れたりして本来の機能を失うばかりでなく、思わぬ事故の原因となります。より衛生的にお使いいただくためにも、早めに取り替えてください。（目安は2コを交互に使用した場合、約2カ月）また、乳首の表面がベタついたり先端がふくらんだものはゴムが劣化していますので、使用しないでください。
- 歯の生えている赤ちゃんが噛んで引っ張ると裂けるおそれがありますので注意してください。

【乳首のセット方法】

- ①乳首を口部に取り付けてください。乳首が口部に正しくセットされないとうれの原因になります。
- ②①でセットした口部をほ乳びんに取り付けてください。



乳首についての注意

- 使用前に必ず洗浄および消毒をしてください。
- 吸い穴や空気穴がゴムの特性で密着してしまい、ミルクが正常に出なくなることがありますので、もみ洗いなどをして、常に弁が開閉しやすい状態にしてください。
- 使用後は、すぐにぬるま湯につけて市販の乳首ブラシなどで十分に洗浄した後、消毒を行ってください。

空気穴



【仕様】

部品名	材質	耐熱温度	消毒方法			食器洗い乾燥機
			煮沸	薬液	電子レンジ	
さく乳口(本体・ネジ部・先端部)・カバー・チューブ接続部・空気弁・受台・キャップ・口部・中フタ	ポリプロピレン	120℃	○	○	○	○
シリコンポンプ・シリコンカバー・パッキン・シリコン膜・乳首	シリコンゴム	140℃	○	○	○	○
電動本体	ABS樹脂・エラストマー・シリコンゴム	60℃	—	—	—	—
電池カバー	ABS樹脂・エラストマー					
チューブ	塩化ビニル樹脂					
ほ乳びん	ポリフェニルサルホン	140℃	○	○	○	○
ACアダプター	—	—	—	—	—	—

- ・食器洗い乾燥機は家庭用のものを使用し、熱風吹出口付近には置かないでください。
- ・機種によっては水流などで製品が飛んで、うまく洗浄できない場合もあります。

<電動部>

電源：DC 6V (ACアダプターまたは単3形アルカリ乾電池4本)







<ACアダプター>

入力：AC 100-240V 50/60Hz






出力：DC 6V 1.8A

故障かな？と思ったら

万一、故障かなと思われるところがありましたら、修理を依頼される前に次のことを調べてください。これらの処置をしても異常がある場合は電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。☞の中の数字は説明しているページです。

症状	確認するところ	処置
吸引力が無くなった。 吸引力が弱くなった。	乳頭がシリコンカバーの中心にくるように、乳房をぴったり押し当てていますか。	乳頭がシリコンカバーの中心にくるように、乳房をぴったり押し当てる。  【さく乳器の使用の前に】
	空気弁にシリコン膜を取り付けていますか。	空気弁にシリコン膜を取り付ける。  組立方法 1
	さく乳口本体に空気弁を取り付けていますか。	さく乳口本体に空気弁を取り付ける。  組立方法 2
	空気弁・シリコン膜・シリコンポンプが破損していませんか。	新しい空気弁・シリコン膜・シリコンポンプに交換する。
	さく乳口先端部にシリコンカバーを取り付けていますか。	さく乳口先端部にシリコンカバーを取り付ける。  組立方法 5
	さく乳口本体にシリコンポンプを取り付けていますか。	さく乳口本体にシリコンポンプを取り付ける。  組立方法 6
	さく乳口本体にカバーを取り付けていますか。	さく乳口本体にカバーを取り付ける。  組立方法 7 8
	さく乳口先端部にひびが入っていませんか。	新しいさく乳口先端部に交換する。
	さく乳口先端部がさく乳口本体に奥まではまっていますか。	さく乳口先端部をさく乳口本体にしっかりとめる。

故障かな？と思ったら

症状	確認するところ	処置
吸引力が無くなった。 吸引力が弱くなった。	チューブがしっかり接続されていますか。	チューブとカバー、電動本体をしっかりとつなげる。
	チューブが劣化していませんか。	チューブ口を切り取り、切り口を真つすぐにした状態でチューブ接続部に差し込んでください。
電動本体が作動しない。	乾電池の寿命が切れていませんか。	新しい乾電池に交換する。  【乾電池のセットの仕方】  【注意】
	ACアダプターをつなげていますか。	ACアダプターをつなげる。  【ACアダプターのセットの仕方】
	電動本体内に水などが入ったおそれはありませんか。	電源を入れずに本体内を自然乾燥させた後、再度、電源を入れる。 ※電動本体が起動しない場合は、故障しているおそれがあります。
さく乳時に母乳が漏れる。 (ほ乳びんやさく乳口先端部などから)	ほ乳びんに母乳がいっぱいになっていませんか。	ほ乳びんを交換する。
	さく乳口先端部がさく乳口本体に奥まではまっていますか。	さく乳口先端部をさく乳口本体にしっかりとめる。
さく乳時に母乳が漏れる。 (乳房とシリコンカバーの間から)	乳房とシリコンカバーが密着していますか。	乳房とシリコンカバーの間に空気が入らないことを確認します。  【さく乳器の使用の前に】
さく乳時に乳首や乳房に痛みを感じる。	長時間さく乳していませんか。	さく乳時間は15～20分を目安にする。
母乳がほ乳びんの中に落ちない。	空気弁の向きは正しく取り付けられていますか。	空気弁はさく乳口入り口側へ向ける。  組立方法 2

<別売り部品について>

新しく部品を購入する必要がある場合は、お客様相談室へお問い合わせください。
お客様相談室のお問い合わせ先は最終ページを参照してください。

品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたら
お手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592

お客様相談室/TEL(076)478-2957

受付時間: 9:00~17:00 (土日、祝祭日を除く)

<http://www.richell.co.jp/>

MADE IN CHINA

